

I 世界史探究問題

バルカン半島に進出していたオスマン帝国は、15世紀半ばにメフメト2世がコンスタンティノープルを征服してビザンツ帝国を滅ぼした。16世紀前半にはスレイマン1世がハンガリーを征服し、ハプスブルク家に対抗して第1次ウィーン包囲を行った。これは失敗したものの、ヨーロッパ諸勢力に脅威を与えた。一方でプレヴェザの海戦では、スペインなどに勝利して地中海の覇権を掌握した。スレイマン1世の死後に起こったレパントの海戦ではスペインなどに敗北したが、地中海の制海権は維持した。その後ヨーロッパ諸勢力との抗争は膠着したが、17世紀末の第2次ウィーン包囲に失敗すると、カルロヴィッツ条約でオーストリアにハンガリーなどを割譲した。（300字）

Ⅱ 世界史探究問題

A

a	大運河
b	クビライ（フビライ）

(1)	燕	
(2)	東突厥	
(3)	節度使	
(4)	ゾロアスター教	
(5)	塩	
(6)	燕雲十六州	
(7)	開封（汴州）	
(8)	千戸制	
(9)	『世界の記述（東方見聞録）』	
(10)	黒死病（ペスト）	
(11)	(ア)	ティムール朝
	(イ)	鄭和
(12)	呉三桂	

B

c	第2次アヘン（アロー）
d	遼東
e	スターリン

(13)	ウラジヴォストーク	
(14)	曾国藩	
(15)	戊戌の変法	
(16)	科挙	
(17)	魯迅	
(18)	汪兆銘	
(19)	銀	
(20)	西安事件	
(21)	ヤルタ協定	
(22)	(ア)	アメリカ合衆国
	(イ)	ソ連
(23)	インド	

Ⅲ 世界史探究問題

アジアではすでに貿易網が形成されており、香辛料などの商品が現地で入手できるのに対し、ラテンアメリカではそのような貿易網や商品が存在しておらず、スペインは銀や砂糖などの商品を植民地で生産する必要があった。植民地では、征服者に先住民の統治を委託するエンコミエンダ制のもと、先住民を労働力とする鉱山や農園が経営され、産出された銀は大量にヨーロッパ・アジアに輸出された。鉱山や農園での酷使や疫病などで先住民の人口が激減すると、外国商人を介して西アフリカから黒人奴隷が導入され、17世紀以降は先住民に加えて黒人奴隷を労働力とする大農園経営のアシエンダ制が発達し、サトウキビなどが栽培され、生産された砂糖を輸出した。（300字）

IV 世界史探究問題

A

a	メソポタミア
b	ナイル
c	クレタ
d	フランドル

(1)	(同害) 復讐法
(2)	綿花
(3)	僭主となる恐れのある人物を投票によって追放する制度であった。
(4)	コロヌス
(5)	ベネディクトゥス
(6)	荘園領主が国王による徴税や裁判を拒否する権利である。
(7)	農民が領主直営地などの耕作を行う賦役と、農民自身の保有地の生産物を地代として納める貢納があった。
(8)	リューベック
(9)	ドイツ騎士団

B

(10)	サルデーニャ王国	
(11)	世界初の黒人共和国であったこと。	
(12)	ゴヤ	
(13)	フォークランド諸島(マルビナス諸島)の領有権	
(14)	<p>アメリカ合衆国憲法の強い影響を受けていること。</p> <p>インディアンと白人は投票権が平等であること。</p> <p>黒人を差別的に扱っていること。</p>	
(15)	アメリカ合衆国	
(16)	(ア)	タバコ=ボイコット運動
	(イ)	宗教を問わず、帝国内の全住民に平等な権利を与える。
	(ウ)	憲法大綱
(17)	ロシア・ウクライナ・ベラルーシ・ザカフカースから2つ	
(18)	(ア)	国の統治体制の基礎を固め、国民の範囲と権利を確立することで、他国からの干渉を防ぎ、独立を保とうとしたため。
	(イ)	通信手段（電信網など）の発達、交通手段の発達など